

第5学年 学級活動（食に関する指導）学習指導案

指導者

T 1：教諭

T 2：栄養教諭

1 題材名 わたしたちの食と防災

2 題材について

本校では健康教育を推進していくにあたり、「児童が自分の健康に関心を持ち、健康的な生活を送ろうとする態度と継続した行動化を図る」、「児童の心身の健康状態を把握し、職員、家庭、関係機関と連携して適切な対応をする」ことを重点としている。

小学生の時期は食習慣の基礎となり、大人になってからの健康への影響も大きい。健康な体作りのために、食について関心をもち、自らの課題を見つけ、主体的に改善・実践しようとする姿を願っている。

本題材では、4年生の総合学習の既習内容とつなげ、災害時を想定できるようにし、衛生面に配慮した食事ができるための具体的な手立てについて焦点を当てた。また、備蓄食品には炭水化物を中心としたものが多いという調査結果がある。そのため、家庭科の学習内容と関連させることで、災害時の食事について関心をもてるようにし、災害時においても自らの健康のため、栄養のバランスの良い食品を組み合わせることができることを重点として考えた。

3 研究テーマとのかかわり

〇〇小学校研究主題「課題意識をもって自ら考え、仲間と共に学びあって、解決する子の育成」

研究内容Ⅰ：児童の意識の変化を意図した一単位時間における指導方法の工夫

4 内容とねらい

	内容	ねらい
1	家庭科 「食べて元気！ご飯とみそ汁」	食事の役割や栄養バランスについて理解し、調理技能を身に付けることができる。
2	事前アンケート	食や防災についての基礎知識の確認
3	【本時 1／2】 学級活動 「災害時の衛生的な手洗い」	手洗いチェッカーを使用し、自分の手洗いの汚れの残り方を確認することで、手洗いの仕方を見直し、災害時に衛生的に食べるための工夫について知識を得る。
4	【本時 2／2】 学級活動 「災害時の栄養のバランスが良い食事」	災害時の食について知り、備蓄食品を組み合わせる活動を通して、災害時も自らの健康のため、バランスの良い食事を考えようとする意欲をもつ。
5	事後アンケート	食や防災についての知識や考え方の変容の把握
6	社会科 「わたしたちの生活と環境」	自然災害や国や県の取組について知り、生活との関わりを考えることができる。

5 関連教科

家庭科「食べて元気！ご飯とみそ汁」

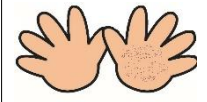
社会科「わたしたちの生活と環境」

6 食育の視点

災害時の食について知り、工夫して衛生的に食べる方法を考えたり、栄養バランスの良い備蓄食品の組み合わせを考えたりすることができる。（心身の健康・食品を選択する能力）

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等
備蓄食品の種類、役割について知る。	災害時を想定して衛生的に食べる方法を考えることができる。	備蓄食品の組み合わせ、栄養のバランスが良い食事をとることができるように取り組むことができる。

7 本時の展開（1／2 時間目）

	学習内容・活動	指導上の留意点	
		T 1	T 2
つかむ 8分	1 普段の手洗いの目的を考える ・コロナの予防 ・いろいろな病気にかからないため	・給食前の手洗い写真を提示し、コロナの予防という意見から、病気の予防のためということをおさえる。 ・健康委員会の取組や、普段呼びかけをしていることにも触れる。 ・既習内容を振り返り、水害などの災害が起きた時は、普段の手洗いはできるのだろうかと問いかけ、課題につなげる。	・水で流しながら「30秒手洗い」をしていることを振り返る。
	2 4年生総合の輪中の見学や水害についての学習を振り返る。 災害時の衛生面について		
考える 5分	3 課題提示 災害時の手洗いについて考えよう		・家庭科教科書 p52「日々の備え」マークを説明し、非常用持ち出し袋の中に入っているものの写真を提示する。（懐中電灯、タオル、ハンカチ、ティッシュ、ウエットティッシュ、水、カンパンなど）
	4 災害時に手を清潔にするために何をを使うと良いか考える。 ・ハンカチでふく ・ウエットティッシュを使う ・少しの水で洗う		
深める 20分	5 手洗いチェッカー ① 両手に塗料をとりのばす ② ウエットティッシュで左手を拭き取る ③ 機器で光を照射し、タブレットで撮影する	・オクリンカード 1 ・汚れの残りが多かった児童には、他の児童の発言など配慮する	・手洗い評価キットを使用し、手の汚れの落ち具合をタブレットで撮影し、オクリンのカードで提出する。 
	6 災害時に安全に食べるための、食べ方の工夫について知る。 ・お皿が汚れないようにしている ・手袋をしている →汚れが食べ物につかないようにするための工夫がされている		
確かめる 12分	7 まとめを記入する。 汚れを拭き取ったり、汚れが食べ物につかないようにしたり、工夫することが必要。	・オクリンカード 2	・ヒントとなる、お皿にラップをしいて使用している様子や、手袋を使って配膳している写真を提示する。
	8 感想を交流し、衛生的に給食の配膳の準備をする。		
		・感想を交流し理解を深める。 ・災害時にも生かせるように、普段の手洗いの、くせを知ること大切だと伝える。	（挨拶後） ・給食前の手洗いをし、手洗いチェッカーで確認をする。

板書計画

題材名		まとめ	
課題			
写真： 手洗いの様子	非常持ち出し袋	手洗いチェッカーの 手順 ① 両手に塗料をつける ② ウエットティッシュ で左手を拭き取る ③ 機器で光を照射し、 タブレットで撮影す る	写真： 食事の様子
写真： 4 年 生 総 合 社会見学の様子	児童の意見の板書 ・ハンカチでふく ・ウエットティッシュを 使う ・少しの水で洗う		児童の意見の板書 ・お皿が汚れないように している ・手袋をしている

T Vモニター

・オクリンクのカード（タブレットで撮影した手）

	学習内容・活動	指導上の留意点	
		T 1	T 2
つかむ 8分	1 ご飯を炊く動画を見る ・家庭科での実習（P42） 火加減が大切だった →水、電気も必要 ・災害時のご飯を炊く動画 袋を使って炊いている 2 課題提示 災害時の食料で、栄養のバランスを考えよう。	・家庭科の学習を振り返り、ご飯を炊く道具（家庭科教科書 P43 資料 2）には炊飯器もよく使われることを押さえる。 ・P43「日々の備え」マーク ・災害時は食料が少ないが、ずっとご飯だけでよいのかと問いかけ、課題につなげる。	・モニターに家庭科の授業の時と、災害時のご飯を炊いている様子を提示する。 ・災害時、袋を使ってご飯を炊くことをパッキングと呼ぶことを伝える。
考える 9分	3 災害時に必要な食料について知る。 水→1人1日3リットル必要 食べ物→ 条件 ・常温で長持ちする ・健康に良さそう ・おいしい ・すぐに食べられる ※カンパンの試食をする		・給食で給食カレーを食べている写真を提示する ・災害時に備蓄しておくの良い食品についての条件を示し、その中のカンパンを試食する。
深める 20分	4 備蓄食品一覧「〇〇倉庫」から栄養のバランスがよくなるよう、食品を組み合わせる。 エネルギーになる 体をつくる 調子を整える <綾里倉庫> エネルギーになる 体をつくる 調子を整える	・家庭科教科書 p 46 を参考にするとよいことを助言する。 ・オクリンカード 1 ・オクリンカード 2	・家庭科の既習内容に触れ、オクリンで備蓄食品の一覧表と3つのグループ分けのカードを送る。 ・一覧表から食品のイラストを選び、3つのグループの表に貼り付け、分類させる。 ・災害時の一食分の組み合わせを考えるように伝える。○を付けて選ぶ。
確かめる 8分	5 全体交流 ・3つのグループを入れた ・おなかがすかないように、エネルギーになる食品を2つにした ・栄養のバランスが良くなるように考えた 7 まとめを記入する。 災害時も3つのグループの食品を組み合わせ、栄養のバランスが良い食事がとれるように、防災バックの中身を考えることが大切。	・「綾里倉庫にはあったけど、自分の家ではどうだろう」と問いかけ、栄養のバランスのことも考え、食品を備蓄することが大切であることを気づかせる。 ・オクリンカード 3 評価 災害時の食について関心を持ち、栄養のバランスを考えて備蓄食品を考えることができる（知識、技能）	・考えた内容の良いところを学級全体に伝える。
		・3学期には社会科で災害について学習をすることに触れる。 ・家の防災バックについて、家の人に聞いてみるように声をかける。	

板書計画

題材名	まとめ
課題	
災害時に必要な食料 水→1人1日3リットル必要 食べ物→ 条件 ・常温で長持ちする ・健康に良さそう ・おいしい ・すぐに食べられる	児童の意見の板書 ・3つのグループを入れた ・おなかがすかないようにエネルギーになる食品を2つにした ・栄養のバランスが良くなるように考えた

TVモニター

・家庭科のご飯を炊く動画または写真 ・災害時のご飯を炊く動画または写真 ・オクリンクのカード1（3つのグループ分け表） ・オクリンクのカード2（1食分の組み合わせ）
--